



<http://www.sirasagi-hoiku.com/>

★3月のテーマと内容

	テーマ	内 容
0才児	できた!	進級に向けてマークを覚えたりズボンを履く練習をしたり、小さな“できた”をたくさん増やそう。
1才児	自分でしょう	食後に口や手を拭いたり、必要な物をロッカーから出したり、自分で出来ることが増え自信につながる。
2才児	進級に向けて	階段を登ったりスリッパを履いたりして、2階のトイレで練習をする。進級に向け、自分で出来ることを増やしていく。
3才児	お話の絵	絵本の読み聞かせからお話の世界に入りこみ、想像をふくらませて絵を描く楽しさを味わう。
4才児	憧れのゆり組	ゆり組になる自覚を持ち、まじめに取り組む、楽しく遊ぶ等の切り替えができるようになる。
5才児	1日1日を大切に	卒園まであと1ヶ月。大好きな友だちと鬼ごっこやドッチボールなど色々な遊びを楽しみ、大切な時間を一緒に過ごす。

《わくわく保育～しらすぎランド～》

今年度最後のイベントは、3月7日～11日に行います。クラスみんなで色々なゲームを元気いっぱい楽しんで、良い思い出ができればと思います。



日 程	7日(月)	8日(火)	9日(水)	10日(木)	11日(金)
	もも組	さくら組	すみれ組	ばら組	ゆり組

- ・ピンポン玉レース … ピンポン玉をおたまに乗せ、落とさないように障害物を乗り越える。
- ・運動ゲーム … カラーリングや平均台、マットなどのコースを進み、フラッグを先に取った方が勝ち。
- ・買い物レース … お題(料理)が書かれた紙を選び、お題に合った食べ物のおもちゃを取りに行く。



～卒園によせて～

園長 秋保めぐみ

令和4年3月26日に第53期生が巣立ちの時を迎えます。

保育園という集団の中で、みんなと遊んだりケンカしたりしながら仲間意識がめばえ、人を思いやるやさしいところが育ちました。薄着で活発に遊び、食事をたくさん食べてつよいからだが育ちました。そして生活の中で毎日笑顔で挨拶を交わしてきました。やさしいところとつよいからだ、そして挨拶。この3つはこれから大きく育っていく皆さんの人生の宝物になると思います。これから9校の小学校に巣立っていきますが、どうかこの3つの宝物を持ち続けて、やさしくてつよい人になって下さい。

さて、1年の終わりに際し、今年もコロナ禍ではありましたが、園内行事の充実を目指し、行事ごとに職員みんなで案を練り計画してまいりました。どの行事でもお子さんたちのはじける笑顔とはしゃぐ姿をみることができ、“楽しい”をたくさん経験させることができ良かったと心から嬉しさと安堵を感じています。保護者の皆様、長い間大切なお子さんを“しらすぎ”に委ねて下さりありがとうございました。在園中のご理解とご協力に感謝いたします。

～ 担任より ～

植村佳純

大久保愛実

みんなの「おはようございます!」という元気な挨拶から始まった1年がいよいよ終わりを迎えようとしています。みんなは外で遊ぶことが大好きで、毎日友だちと「氷鬼しよう」「だるまさんが転んだしよう」と相談しながら仲良く遊んでいました。面白い話や嬉しかった話もたくさん聞かせてくれて、本当に楽しかったことばかりが思い出されます。また、運動会や発表会も印象的で、誰ひとり「え～」「いやだ」と言うことなく毎日、楽しんで練習する姿を見て「さすがだな」と感心し、本番では堂々と演技をするみんなを見て、大きくなったなと感動しました。4月からはピカピカの1年生。しらすぎ保育園で学んだことを糧に大きくなってほしいです。何事にも一生懸命で優しいみんななら小学校へ行っても色々なことにチャレンジしてその度に乗り越えられると信じています。素敵な毎日をありがとうございました。大好きです!!

ゆり組のみんなと過ごした2年間はとても楽しかったです。お喋りが好きでいつも賑やかですが、やる時はやるみんな。運動会や発表会の練習では友だちと教え合いながら楽しんで取り組み、本番では練習以上の最高の演技を見せてくれましたね。体育の時には、鉄棒や跳び箱など諦めずに何度も練習し、「逆上がりができるようになった!」と喜んでいる姿を見て私も一緒になって喜び、感動しました。お手伝いを進んでしてくれる優しさを持っているゆり組さん。ニコニコ笑顔でたくさん話しかけてくれたり、「大久保先生、大好き!」と照れながら言ってくれたりするかわいいみんなが大好きです。楽しい毎日をありがとう。保育園で学び経験したことを忘れずに素敵な小学生になって、笑顔いっぱいの日々を過ごして下さい。



★3月のプラン

- 3日(木) ひなまつり
- 5日(土) ゆり組こどもランド
- 15日(火) 弁当日
防犯訓練
- 26日(土) 第53回卒園式
- 31日(木) 新年度保育準備日

《園庭開放 中止》

＜編集後記＞

3月14日はホワイトデー、2月14日バレンタインデーのお返しをする日です。ホワイトデーは日本で生まれたと言われていて、日本人は昔からいただいたものにはお返しをという意識があった為、ホワイトデーが誕生したそうです。又、お返しの品により込められる意味がちがうのはご存知ですか?例えばマシュマロだと「あなたのことは好きではありません」という意味らしいですよ。お返しの品を渡す時はどんな意味か調べてみて下さい♪(花木)

＜今月の担当：小田嶋幸恵・花木ひかり・岡田奈弓＞



ゆり組保護者の声



～りゅうしくんのおかあさん～

尾戸井沙矢香さん

息子は、たんぽぽ組から入園しましたが、その少し前に食物アレルギーだという事が分かりました。卵、乳製品、白身魚を食べると体にブツブツと蕁麻疹が出るという症状でした。保育園では、牛乳やカルピスを別のもの変えてもらい、おやつも別で用意して頂いたり、除去食対応をして下さり、大変ご迷惑をおかけしました。おかげさまで、息子の体の成長と共に少しずつ症状は無くなり、ばら組になる頃には、みんなと同じ飲食をすることができるようになりました。また、2～3才にかけては、自宅でほとんどトイレトレーニングができていなかったにも関わらず、保育園でのトイレトレーニングのおかげで、オムツを卒業することができました。このときの衝撃と感動、感謝は忘れません。お友だちと遊んだり、ケンカしたり、恋をしたりと楽しい思い出がたくさんある保育園で、心身ともに息子を成長させて頂いたと感謝しています。本当にありがとうございました。

～さきちゃん・はるとくんのおかあさん～

鎌田麗子さん

子どもたちが3ヶ月半の頃、たんぽぽ組に途中入園し、早いもので5年8ヶ月。初めての育児がまさかの双子で不安な事も多かったですが、先生方にはたくさん助けて頂き、本当にお世話になりました。こんなに小さいのに…と心苦しく思う事もありましたが、親子共々色々教えて頂く事で、双子育児の大変さも乗り越えられたように思います。3月生まれという事もクラスの中では、いつまでも未っ子という感じでしたが進級するたびに出来る事もどんどん増え、最初の発表会は歩く事も出来なかったのに、ゆり組で合奏している姿は、我が子だけでなく、みんなの成長に感動しました。コロナ禍でも運動会や発表会を開催して頂き、感染対策も大変だったのにと感謝の気持ちいっぱいです。泣き虫の2人ですが、毎日楽しくしらさぎ保育園に通う事ができて本当に良かったです。たくさんお世話になり、ありがとうございました。

～あおとくんのおかあさん～

吉本 薫さん

さくら組からお世話になりました。しらさぎ保育園でのたくさんのいい出会いのおかげで、日々息子の成長する姿を感じることができました。最初のころは、保育園に行くのを嫌がっていましたが、今では毎日その日の出来事を話したり、明日することを楽しみにしたりし、保育園に行くことを楽しみにしていることがよく伝わりとてもうれしく思っています。まだまだ泣き虫な息子ですが、保育園での経験をいかし、小学校でも頑張ってもらいたいと思っています。どんな時も受けとめ優しく関わってくれた植村先生、大久保先生をはじめ、先生方に感謝しています。娘を含め、5年間本当にありがとうございました。

～ちさちゃんのおかあさん～

寺本佳奈さん

長男からお世話になった9年間の園生活が終わりを迎えます。子育ての一つの季節が過ぎてゆくのだと、とても寂しい気持です。振り返って一番に思い出すのは、初めての登園日、外まで響く泣き声。その日は夫婦でフェンスにしがみついて迎えるの時間まで外で一緒に泣いて待っていました…。初めての子育て、誰かに自分の大切な物を預けることが不安でした。でもそんな心配をよそに、子どもたちは強くたくましく育ち、どんどん自分の世界を拓き、とても頼もしく成長しました。それも全て先生方が日々安全安心な保育を与えて下さったからです。食事、お昼寝、遊ぶ時、我々の見えない所で常に危険から守ってくれていたのです。特にコロナでは通常の保育ができず大変な苦労の中、変わらない愛情と安心の場を与えて下さり、心から感謝しています。9年前のあの日、勇気を出して大切な命をしらさぎ保育園に預けて良かったと、心の底から思えます。本当にありがとうございました。

～ひさとくんのおかあさん～

中尾直美さん

もも組からお世話になり、あつという間の5年間でした。この5年間は毎日楽しかったらしく、休みの日にも「今日は保育園にいかないの？」と聞いてくるほどでした。毎日楽しく過ごすことができるのは、保育園のお友達と先生方のおかげだと日々感じています。この2年間はコロナ禍での運動会や発表会も、先生方の努力や感染対策のおかげで無事に行うことができ、本当に感謝しています。子どもたちの成長した姿とやりきった後の笑顔を見ることができ、とても嬉しく感動しました。しらさぎ保育園には、お姉ちゃんから7年間、お世話になりました。親子共々、支えて頂き、成長させて頂きました。先生方には感謝しかありません。本当にありがとうございました。

～ひなたちゃん・ひまりちゃんのおかあさん～ 松崎晴香さん

5年前の春、1才にして保育園に入園。そして私の仕事復帰と新しい生活に色々な不安や緊張を抱いていました。入園してすぐは、毎日泣いて心苦しかったですが、日に日に泣かずに行ってけるようになり、とても安心しました。毎日先生から、2人の様子を聞くのが楽しみでお迎えに行っていました。双子育児で息詰まった時に、先生から温かい言葉やアドバイスをもらい、支えて頂きました。2人を見れば、保育園が楽しくて大好きだとわかります。「今日はお友達と砂遊びをした～」「鉄棒ができて先生に褒めてもらった～」「グラタンめっちゃおかわりした！」など毎日教えてくれます。発表会や運動会で見る子どもの成長に感動しつつ、先生方の熱心さに頭が上がりません。しらさぎ保育園で学んだことを小学校でも活かして頑張ってもらいたいです。5年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

